

事例10

< 事例概要 >

- ①90 歳代、慢性腎不全、左半結腸切除術後の入院患者。
- ②カリウム補正中の定期採血。
- ③術後に利尿剤投与のため塩化カリウムで補正していた。臨床検査情報システムの検査結果は、27 項目中 13 項目が異常値であり、パニック値との区別がなく赤字で表示されていた。臨床検査技師は、そのうちのK > 10.0 meq/L とNa 161 meq/L に気づかなかった。看護師は、処方されていた塩化カリウムを注入し、投与約2 時間後に心室細動が出現した。医師は急変後に検査結果を確認した。
- ④急変より約 3 時間後（パニック値検出より約 7 時間後）に死亡。
- ⑤死因は、急性腎不全。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。